

令和4年度 議会報告会・意見交換会の開催結果について

(町民からの意見集約)

1 参加者人数

月 日	場 所	合 計
令和5年1月21日(土)	開成町庁舎 1階 町民プラザ	9人
1月22日(日)		10人
計		19人

2 主な質問・要望

※議会回答の▼は後日確認した内容を掲載。

発言要旨	議会回答
<p>■後退用地の取扱いについて</p> <p>○後退用地の定義は。</p> <p>○後退用地について開成町は寄付を推奨しているとのことだが、他の町は買取を始めている。なぜ寄付を求めるのか。</p> <p>■農道の管理について</p> <p>○農道にある官地は誰が草刈りをするのか。</p> <p>■福祉会館の使用料について</p> <p>○福祉会館の多目的ホールの利用料金が低い。利用が少ないので安くしたほうが利用が増えるのでは。金額を検討してほしい。</p>	<p>●狭い公道で4m未満接する敷地に建築する場合に建築基準法の基準に基づいてセットバックされる土地である。</p> <p>●建築基準法では後退義務が土地所有者に発生する。寄付するかは土地所有者の判断というのが町の考え方である。寄付をすれば町は一定の対応をする。狭あい道路をかえていくのは寄付だけでは不十分だと総務経済常任委員会は考えている。予算を含め大きな制度導入になるので、私たちは問題点として提言した。</p> <p>●本来は町が管理する所だが現状では出来ていない。岡野・金井島地域では「あしがらの農地環境を守る会」が多面的機能支払制度を使い行っている。また農業振興地域以外では、クリーンデー等で対応している。</p> <p>●利用者が多くないのが現状である。福祉会館の管理・運営は町から指定管理者である社協に委託している。担当課に伝え検討してもらえるような動きはしたい。</p>

■議会ICT化について

○タブレット導入の経費、ペーパーレスの状況、また、タブレット導入による利点は。

■議会広報（ギカイだより・議会ウェブサイト）について

○スマホで議会ウェブサイト観る時に止まってしまう時がある。

○以前町ホームページに掲載されているときは、一般質問の日付・時間・内容・議員の日程等一覧がPDFで掲載されていたのでわかりやすかった。

議会ウェブサイトでも、動画だけでなく、PDFと組み合わせてほしい。

○ギカイだよりと議会ホームページの変化、意気込みを感じる。ホームページのフラッシュムービーの画面が速すぎる。言葉を少なく、一画面にするとわかりやすくなるのでは。

○議会ウェブサイトは更新が大事である。たくさんの人に見てもらうのが大事。またウェブサイトについて各自治会のイベント時に宣伝しても良いのでは。

○町の広報かいせいで携帯にLINEの通知が来るがギカイだよりの同様にしたらどうか。

●タブレット端末の費用として3年間で議員、事務局職員等の18台で約600万円。システム使用料金が3年間で297万円。ペーパーレス化は年間約17,000枚の削減である。

タブレット導入のメリットとしては端末の中に議会の関係資料が全て入り、蓄積され使いやすい。端末操作ですべての情報を得られる。議会の活性化として良かったと考える。

●スマホでの表示が適正となるよう業者と調整を進めている。

●9月に議会独自のウェブサイトを開設した。修正する所があると思う。わかりやすく作り変えていきたい。

▼3月定例会議から一般質問の各議員の日時、内容等の日程一覧を議会ウェブサイトに掲載します。

●フラッシュムービーについては意見を参考にしながら広報広聴常任委員会の中で討議していきたい。

●ウェブサイトの更新は重要だと考えている。自治会を回っての議会ウェブサイトの周知については、議会広報として調査、研究をしていく。

●SNS等の活用を研究していく。